

平成 24 年度 富良野市環境審議会顛末

日 時：平成 25 年 3 月 21 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

場 所：富良野市役所 大会議室

出 席 者：近内部長、高橋委員長、芝野委員、辻委員、有澤委員、家次委員、石川委員、酒井委員、穴沢委員、横井弘道委員、坂口委員、南部委員、猪飼委員、横井戈委員、

事務局：関根課長、小笠原係長、亀谷

欠 席 者：市村委員、天白委員、座間委員、宮下委員、高崎委員、稲葉委員

1．開会

【事務局：関根】(省略)

2．会長挨拶

【高橋会長】(省略)

3．部長挨拶

【近内部長】(省略)

4．議題（進行/高橋議長）

(1) 環境基本計画の進行管理について

【説明】

資料-1（事務局）環境白書の内容について事務局より説明

【質疑応答】

(1) 環境基本計画の進行管理について

委員：水質汚濁に係る環境基準の測定方法は？通常時、川はきれいだが、降水時は大変濁っている。測定時の測定条件を説明してほしい。

事務局：17 か所の測定点を設け、1 年（今年 9 か所なら、次年 8 か所、2 年合計で 17 か所）おきに測定（H23 測定取水日は H23 年 10 月 4 日）しています。

委員：1 年に 1 回の測定なので、条件の良いときばかり測定では良い値ばかりになる。ふだん川を見ているものからすると、疑問の残る数値となっている。

事務局：水質測定については、基本的に毎年、同一時期、ほぼ同一の条件（毎年決まった時期に一定の天候条件下の中で、安定している段階）の河川流量で測定するようにしています。

委員：基本はいまの事務局の話でいいと思う。ただ先ほどの話も理解できるので、可能であれば降雨後の状態、たとえば降水量 30mm～50mm の翌日に測定するような方法も考えてもよいと思う。

事務局：検査の方法についてはいろいろな方法があると思われませんが、現在委託で検査を行っているので、専門家に相談しながら検討していきたいと思います。ご意見として承りたいと思います。

議長：いろいろ項目はあると思うが、下水処理場や環境衛生センターなどある程度水質分析できるところもある。可能なのか解らないが、そのような所に毎月お願いする方法もあると思う。

委員：BOD 測定の安価キットもあるので、簡易検査は簡単に行えると思う。BOD は水の中の栄養素を測定する指標。また、BOD は増水時の水の濁った状況では測定が難しい。汚濁の状況を測るのであれば他の数値と測定方法が必要。

委員：何を測定することがよいのか？測定の目的はなにか？

事務局：BOD については測定した項目の一つであり他にも大腸菌群等測定している。問題としては下流域のかび臭、硝酸性窒素の問題がある。硝酸性窒素については、農業の施肥や酪農業のスラリー等の土地への還元などにより、すでに土中にしみこんでいるものもあり、早急な解決は難しいが改善にむけて提言していきたい。現在、行っている水の調査は一般的なデーターの収集に留まっているので、今後農業サイドとも相談し、問題解決に必要なデーターの蓄積していきたい。

議長：今後については2年に1度の調査についても検討いただけるとのことなので状況を見守っていききたいと思います。

委員：項目の目標数値が実態と離れた高い数値となっているものもあるが、計画や展望などがあるのか？

事務局：目標数値について希望的な部分もあり、高めに設定しています。これから現状を踏まえた見直しを含め検証していきたい。今現在は現状の目標にむかってがんばっていききたいと思います。

委員：植樹の団体も私が知る限り、3つか4つあり、おのおので活動しているので、間に入り1つにまとめることが出来れば参加者もひろがってくるのではないかと。
また、実際の「ゴミ拾い」の参加者とそうでない者では感想は違うと思う。参加者は富良野市のごみがきれいと思う人はいないと思う。
マニュアルどおりのアンケートでは、実情をつかむのは難しい、実際に自然保護活動の催しなど、要望はおおきいが、参加者少ない。なんとか審議会でも知恵を出し合っていくことが大事だと思われる。

委員：富良野にはせっかく東大演習林があるので森林にかんするデーターを提供いただければ、森林

の部分も前面に出て良いものになると思う。

委員：森林の水について毎月測定しているデータの公開は可能です。先ほどのお話のとおり、いろいろなデータをとっているが、富良野市の環境評価、問題点の洗い出しになっているかは疑問に感じる。分析のみを札幌市等の業者にお願いし、その他を NPO 団体やボランティアにお願いするなど、経費削減し携わった人の意識向上にもつながると思われる。

議長：東大演習林さんのデータ提供含め心強いお言葉もいただき、ありがとうございます。進行管理や作り方など全体的な部分でなにかありますか？

委員：評価の部分について目標について少しでも上回っていれば良い、下回っていれば悪い印象を持ちますが、統計的には一喜一憂するものでもない。市民の方々が見る物なのでもっとわかりやすい表現が良いのではと思う。

事務局：表現方法についてはより解りやすい方法を検討していきます。

委員：何が問題なのかわかりやすくしたほうが良いのではないか。

事務局：ご意見としてうかがっておきます。

委員：温室効果ガスについても、富良野市がどのような状況にあり、どのような方向性を持つか、もっときめ細かい方がよかったのではないかと思う。

議長：現在の状況を踏まえて目標時と違っている点など意見として出していただければと思います。

委員：たとえば、アスベスト 100%はなにが 100%なのかかわからない。それぞれ達成したもの、達成しなかったものの理由とこれからの展望などがあればより理解しやすいのではと思う。

議長：環境白書の名前や内容について具体的なところは？

事務局：呼び方については、他市町村で使っていたのでならいまして。内容についても広く知っていただく事に主眼をおき、分かりやすさについては疑問が残るのでより解りやすくしていきたいと思ひます。

時期についても早急に修正できるところ修正し発表していきたい。今回のご意見につきましても反映可能な所は反映していきたいと思ひます。

委員：固形燃料によって減少した CO2 の部分を乗せればより市民が協力をえられるのではないかと思う。

議長：その通りだと思われるので可能であれば検討いただきたい。

(2) 自動車騒音常時監視結果について

委員 : 測定値は時間等周期の測定なのか平均なのか参考に教えていただきたい。

事務局 : 平均値です。

委員 : なんのために測定しているのか

事務局 : 目的は国の自動車騒音や都市計画などの基礎データとして利用している。

委員 : 今回は秋であるが毎年同じ時期なのか

事務局 : 同じく秋になると思われます。

委員 : もっと具体的な細かいデータがあればいろいろ活用でき、もったいないと思う。

事務局 : 可能な限り出来る事おこなっていきたいと思います。

(3) その他

委員 : 太陽光発電の補助金の案内が入っていたが、訴訟があったものもある。デメリットの説明が不足がちなので、メリットだけでなくデメリットの部分も説明が必要と思う。

事務局 : 自然エネルギーについては、補助金の初年度なので、ご指摘のとおり不安な部分もございます。太陽光発電補助導入の目的は自然エネルギー導入促進、CO2 低減はじめ、災害にも対応する部分も期待しております。実情的な部分は、ペレットストーブの導入補助金の伸び悩みがあり、その補助金の半分を太陽光発電導入補助金にあてました。

事務局 : 白鳥川の水車につきましては H24.1 月から発電試験を重ね 100 ワット程度発電が出来るようになっております。厳寒期以外安定的となってきている。用途としては付近の教員住宅の防犯灯、維持管理用の充電式刈り払い機の電源をかんがえております。見学についても環境を整備していきたいと思っております。環境学習施設としての活用を考えています。敷地は東大演習林で多大な協力をいただき感謝しております。めどとしては夏頃までには整備を終えたいと思っております。

次回開催は夏頃を考えております。よろしくお願いたします。